

'16のべおか

第九

のべおか第九だより (第550号)

2016年11月5日 (土)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ <http://dai-9.info>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
■ 合唱幻想曲 ■ 聖夜 第九	◆ ソプラノ	26人	22人	84.7%	66.2点
■ A (237~330小節) p.9~18	♥ アルト	38人	36人	94.7%	62.9点
■ B (411~654小節) p.21~35	♣ テノール	13人	10人	76.9%	58.6点
■ C (655~762小節) p.35~47	♠ バス	14人	11人	78.6%	79.2点
■ D (795~920小節) p.50~63 12月17日まであと 35日	● 合計	91人	79人	86.8%	65.8点

♪ 「…てる」は「…タァ」「…デる」は「…ダァ」です。



【楽譜の該当部分に書き込みをしましょう。】

@ 「第九」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♨バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- 237 【～】 柳田先生とお話しさせていただいていますが、ドイツ語の発音のいくつかを訂正させていただきます。言葉の最後に“…er”となる単語、これは僕は巻かない方向でいきたいので、“…エ～ル”といわずに“…ア～ル”。“wie-der,=ヴィーダアー”、“Brü-der,=ぶりゅーダアー”。そういう形は全部そうさせていただきます。基本的に巻くと思わないでください。必要以上になっちゃうのは僕は耳ざわりなんですよ。イメージとしてはちょっと引っかけぐらい、“…る”と1,2回引っかけたぐらい。完全に引っかけないと“Brü-der,=ぶり…ーダアー”になってしまいますので、ちょっとだけ引っかけます。その方向で全部行ってください。



- 285 【wer auch nur～】 あかね、相当頑張りましたよ。ここ(会場)響くところなんですけど、僕が一番大事にしたいのは言葉として聴こえることで、もちろん響きに乗せてほしいですけども、まず言葉ありき。だからその言葉を遠くの客席に届けるイメージです。舞台上に落とさない。……“Ja, wer auch nur ei-ne_ See-le”を区切らずに、ここまで一つの流れが感じられるように。途中でしぼんでしまうと“…ei-ne_ See-le”まで行けない。それを見越してここまで持ってってください。
- 286 【ei-ne See-le～】 言葉の中でいつも重要なポイントがあって、そこに必ず向かう…というか、「ここが一番重要だぞ」というのがわかるようにしたい。“sein nennt auf dem Er-den rund!”の“… Er-den rund!”まで持ってくる。“Er-den”をしっかり。腹の一番深い部分までいけるように。“Und _ wer's nie ge-konnt,”の“nie”。今の言葉の波、わかりますね。それをそのまま残してください。歌になったらそれがなくならないように。



- 286 【ei-ne See-le】 “See-le”ズイーレ、ゼーレにならないように。“イ”の口の形をしたまま“エ”とってください。
- 290 【konnt, der steh-le～】 “steh-le”それも最初のほうの“See-le”と同じ形の“…エ”。
- 291 【wei-nend sich aus～】 ここは“wei-nend sich aus die-sem Bund.”の“…Bund.”までいかないと。dim.とかいろいろありますけども、言葉をまず。それを踏まえて“wei-nend sich aus die-sem Bund.”。

- 292 【die-sem Bund.】 なにか音の大きさというよりは、言葉のエネルギーが萎えちゃうのが問題だと思う!? (最後まで言葉を大事に)



- 313 【Küs-se gab sie】 “Küs-se”はもう少し“…-se”の母音を利かしてあげてください。
- 314 【uns und Re-ben,】 ここ(314)もありますね“Re-ben,”。“…イ”になりきってしまうとダメ。(“イ”の形をした口で“エ”)。
……もう少しメリハリ、そうして今ぐらいのパワーでもう少しメリハリが欲しい!!
- 315 【ei-nen Freund, ge-~】 “Freund,”、“Tod;”を聞かせる。“Tod;”ってすごく強い言葉ですよ。“死”ですけども、死によって試されてきた“Freund,”友人。2つの言葉の重みを感じながら…
……“ge-prüft, im”ここ言い難いですよね。少し抜いて構いませんから、“ei-nen Freund,”ということと“ge-prüft, im Tod;”を伝えること。
……“ge-prüft, im Tod;”の“…Tod;”が目的地だから最初にいきりすぎないように。“…Tod;”に息がちゃんと乗っかるように調節しないと。最初に出してしまわない。
……“ei-nen…”を強くやっちゃうと(後半)“…Tod;”が弱く聞こえてしまうので、“Freund,”、“Tod;”を聞かせる。
- 316 【prüft im Tod; Wol-~】 “Wol-lust ward dem Wurm ge-ge-ben,”、最初の“Wol…”に重みがあって最後の“…ge-ge-ben,”が目的地。



- 316 【prüft im Tod; Wol-】 この“Wol-lust…”というところ、ちょっと先取りいきます。もう少しエネルギーが欲しい。
- 318 【Wurm ge-ge-ben,】 “ge-ge-ben,”の2つ目の“-ge-”がやっぱり“イ”の口をして“エ”。
- 319 【und der Che-rub~】 僕は個人的にとても気になるのは“und der Che-rub…”の“und”。こういうときにベターッと“der”にくっついちゃうと“ウンデェア”みたいな感じに聞こえちゃうんですね。“ウント、デェア”と軽く切るようなイメージかな…

- 319 【und der Che-rub】 “Che-rub”これが特別な名前。突然、天使の名前が出てくる。「これは特別ですよ」と“Che-rub”、ちょっとしてあげると伝わりやすい。ここ、この名前が出てきたことに感動してください。
- 320 【steht vor Gott,】 “steht”も“…イ”の口して“…エ”。
- 325 【steht vor～】 “vor Gott, …vor Gott, …vor Gott.”と3回来ますね。3回来る意味をちょっと感じて欲しい。



- 330 【Gott.～】 …男性、頑張ってくださいね。女性の声がかんたん出てきているから。バランスとしてはピラミッド状。下に行けば行くほどしっかりさせていると上の方があまり張り上げなくても鳴るようになるんです。女性が出てきたら、高い音が聞こえやすいんですけど、その分、男性がもっと頑張るとすごく良い響きになっていくので頑張りましょう。
- 330 【Gott.】 “…Gott.”あんまりバラバラすぎてもアレなので、もうちょっとだけ最後は寄せましょう。でも“…ット”といかないで、“…オ…”が大事。最後は軽くていいんですが、なんとなく“…トトトトト!?”というのは恥ずかしいので、なんとなく指揮を切るときに“…ト”と付けるようなイメージで。
- ★ 330 【お話し】 すごくいいですね。皆さんの多分、力の100%に近い力をなるべく出していただきたいんだと僕は思います。もっと出せるんだろうな…という感じを僕もしているんで、最初の“Kü-se gab sie …”の流れからの“…vor Gott, vor Gott, vor Gott.”までを一つの大まとまり、そしてそこに高く登っていくようになっていきたいんですけど、今は細かいことをお願いしてそれをやった上で今度はそこ(最初から最後)までエネルギーを保って欲しいんですね。



- 411 【Lau-fet,～】 ここは場面がだいぶ変わりますね。こういう感じですよ。1個1個力強さをイメージしながら、ここはきれいに歌おうと思わなくていいです。男らしく力強くいってください。……もっと出せますよね。でも力強さはだいぶ良いです。
- ♣ 413 【eu-re_～】 ここは少し前めから声を張って。“Bahn, _”から張っても遅いんで、“eu-re_ Bahn, _”。

- 417 【Held zum_】 “Held=英雄”
- 418 【Sie-gen,】 ここが強く。
- 428 【Held_】 ここが一番の高みになります。
- 431 【--gen!】 苦しいかもしれないけど、“-gen!”は抜け切らないようにお願いします。最後のほうまで、後ろのほうまで強く引っ張ってください。
- 543 【Freu-de,~】 この前で、ちょっとだけ僕はテンポを落とすようなイメージですね。そして直前でバーッと上げますから。



- ★ 543 【お話し】 (何度か歌って)だんだん歌になってきてるんですよ!? “Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, …”ちょっとこれから語りましょうか。“Freu-de, ”、“schö-ner Göt-ter-fun-ken, …”と、こういう感じです。
- 547 【Toch-ter】 “トホテる”ってなってる方、直してください。“トホタア”。
- 549 【ly-si-】 “E-ly-si-um,”の“…ly…”は“ウ”の形で“イ”。
- 551 【wir be-】 “wir”は“ヴィア”。“i”は完全に“イ”です。
- 552 【tre-ten】 “be-tre-ten”の“…tre…”は“イ”の口で“エ”。
- 553 【feu-er-】 “feu-er-trun-ken,”、“フオイヤートゥンケン”。“オ”という母音が抜け気味。
- 555 【Himm-li-~】 “Himm-li-sche, dein Hei-lig-tum!”はできれば“Himm-li-sche,”をひとつだと思って“Himm-li-sche,”、“dein Hei-lig-tum!”。
- 559 【Dei-ne~】 “Dei-ne Zau-ber…”ここ“Zau-ber”は言葉としては少し柔らかくなります。“Zau-ber”、“wie-der,”に重みがきます。
- 565 【streng ge-~】 “streng ge-teilt;”は“streng”、“ge-teilt;”。“streng”と歌って飲み込んでから“ge-teilt;”。
- 566 【teilt; al-~】 “al---le Men-schen wer-den Brü-der,”は“al---le”と“Brü-der,”に重み。
- 569 【wer-den~】 “wer-den Brü-der,”は“Brü-der,”が大事です。今のは“wer-den”が強くなっている!?
- 569 【wer-den】 “wer-den”はちょっと“イ”のほうで。ちょっと口を“イ”の形で。

- 571 【wo dein〜】 “wo dein sanf-ter Flügel_weit;”の“sanf-ter”というのは柔らかいイメージですね。“Flügel”が目的地。
- 574 【weit;】 “weit;”の“ヴ…”というのを“ワ”に近づけないように。下唇の内側に歯をたてて“ヴ…”。かなり強くやらないと…



- 595 【Seid um〜】 “Seid um-schlun-gen, Mil-li-o-nen!”は“…-schlun-… ”、“…-o-…”を深く…そういうイメージで。
……一発目から世界を作っていたかかないといけないときは、普通のブレスをするとちょっと後になってしまう!? その分だけ早めに息を吸っていただいて早めにはき出すようなイメージ。“…ズア〜”じゃもったいない。
- 622 【zelt muß_〜】 バス⇒テノール・アルト⇒ソプラノの“muß_”、男性の第一声を非常に聞きたい!!
- 632 【nie-der,】 “nie-der,”は“nie-”にだけ重み。…ゆっくり挑戦しましょうね。僕はだいたい違うこと言ってますから。
- 638 【Welt?】 …今のちょっとね、早すぎる!? “Schöpfer,”、“Welt?”。
- 642 【zelt!】 “zelt!”は次に行く直前に切ってください。次の“Ü-ber”という前の息を吸う前に切る。



- 646 【woh-nen,】 僕が手を落とした時に“…nen,”を止めてください。そして全く音がない瞬間を聞いてください。
- ♥ 650 【ü-ber〜】 惜しいねえ、惜しいねえ…(低い)。ここが一番の肝なんです。今のぎりぎりセーフかなあ?? アウトかなあ!?(笑)。ここは柳田先生、ぎりぎりまで。でもちょっと高いところに着地するぐらいか、高いところから下げるぐらいになれば楽だと思います。下から上がると苦行になってしまう。

○ 654 【woh--nen.】 “-nen.”の最後は消え入るように消していただきたい。

● 655 【～】 高いところは「高い!」と思って出すと絶対にたどり着きませんから、上から飛び降りるようなイメージですね。下からよじ登ろうとすると!?…なので、喉になるだけ力が入らないような方法をとったほうが…。ここからは二重フーガ、二つのテーマが同時に展開していくんですけども僕は“Seid_ um--schlun-gen, Mil--li--o-nen! …”を核にしたほうが解りやすい。聞いていても解りやすいと思うので、そのテーマを自分が歌っているなというときはちょっと前に出てきてください。後半は非常に複雑になっていきますけれども全部必死に歌わないで、“Seid_ um--schlun-gen, …”というテーマが出てきたときは張って、それ以外のテーマが出てきたときはちょっと抜いてあげてください。

♣ 662 【Seid_～】 テノール、全部じゃなくていいけどもう少し“Seid_”が聞こえると「あ!」って聞いている人も呼ばれるから。聞こえないとやっぱり埋もれちゃう。



♡ 709 【Seid um--】 この[Q]のところね、後から思い出したように入らないでね。“Seid…”が大事。……それぞれ、1小節ぐらい前に「(“Seid…”の)準備」って書いておいてください。…後になってから聴こえてくるんですよ!?

♡ 711 【Mil--li--】 …高い音になってきたときは、そんなに頑張らなくても聞こえるので…(“Seid…”からの)もう少しメリハリをつけましょう。

● 730 【Ihr stürzt～】 今、言葉のまとまりが非常によくわかる。それを保ったままもう少しだけ…皆さん経験ある方は分かってらっしゃるだろうけど、絃楽器が全く一緒に弾きます。僕なんか見なくていいから、そのときは絃楽器だけ見て一緒にやってください。そしてつながりを感じつつも、音がない空間というか、それを出せたらもっといい。
……もうちょっと腹筋使ったほうが!? 腹筋もしましょうね。1か月の間ですから。

● 762 【-nen.～】 …(ここまで歌って)意味はご存知ですよ。何かVaterさんがこのへんにいらっしゃるんですよ。音としては上の方にイメージを。“muß_ein lie-ber Va-ter woh-nen,”。目線は完全に上です。

● 801 【was die Mo-de～】 できれば前(791)から少しずつ盛り上がっていきたい。今、僕の耳にはここから急に元気になる感じがある。順序良く上がって行ってその流れでいってもらいたい。

○ 806 【Al--le】 “Al--…”もちょっと深みが足りないかな!? ちょっとお腹から支えてあげるようなイメージで。

- 810 【Men-schen wer-den〜】 ここはね、すごくゆっくりはしない。つまり倍の遅さだけです。あん



まりゆっくりはしない。大事なのは(この前小節から後小節：809～811の)“al-le Men-schen wer-den Brü-der,”ここまでききますよね。この緊張感が解けてないので(ゆっくりはしない)。

- 813 【Flü-gel weit.】 テンポ変わりますけど、拍の1,2の手前で切ってください。
- 832 【Men-schen!】 “…-schen!”は少し軽めに切ってください。
- 855 【Seid um-schlungen,〜】 “…-schlungen,”が聞こえない!?。極端な話、“…-schlungen,”、“…-onen!”, “…Welt!”これが浮いて聞こえればあとはいいです!(笑)。
- 855 【Seid um-schlungen,】 “…-schlungen,”が聞こえない!?
- 877 【Seid um-schlungen!〜】 “Seid um-schlungen! seid um-schlungen!”速い口のとときに全部を言うとうとすると余計に自分の首が閉まりますので、大事なのは練習の最初っから一緒に“…-schlungen!”に重みを。これは速くやっても一緒です。
- 880 【Die-sen〜】 “Die-sen Kuß der gan-zen Welt! der gan-zen Welt! der gan-zen Welt!”そう言うまとまりを感じていただきたい。慌てないでください。ちょっと詰まっていくんでき?
- 895 【gan-〜】 特にバスですね、“ハハハハハ…”と考えると絶対鳴りませんので、一つの響きの中にとお腹で支えてやらないところは鳴りません。
- 920 【fun-ken!】 “…けん!”っていくとドイツ語じゃなくなるので…

@ 「合唱幻想曲」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- 444 【Gro - Bes,〜】 “Gro-Bes, das ins Herz ge-drun-gen,”、“blüht dann neu und schön en-por;,”、“hat ein Geist sich auf-ge-schwun-gen,”、“hallt ihm stets ein Gei-ster-chor.”は長く続くメロディなんですけれども、言葉のことを考えると“…-drun-gen,”まで一つ向かっていただきたいのと“…en-por;,”この二つ。そして“…-schwun-gen,”、“…Gei-ster-chor.”に重み。

- 452 【chor. Nehmt denn〜】 “Nehmt denn hin,”、“ihr schön-en See-len,”、“froh die Ga-ben schön-er Kunst.”は一個一個のまとまりが短くなるので、“…hin,”、“…See-len,”と重み。そして“Ga-ben”は若干の山なんですけども“…Kunst.”が一番強い。
- 527 【lohnt ihm〜】 ここ大事なんです。これは聞こえたい。「ちょっと今までと違うところに行きますよ」というのがはっきり聞こえたいので、ここは結構がんばってください。
- 528 【Göt -〜】 ここはオーケストラは前で一度やっていますが、ハーモニー的に新しいんですね。このところがとっても大事なんです。そこちょっと強調してあげてください。



- 556 【Wenn sich〜】 早口は「第九」と同じことです。“Wenn sich Lieb' und Kraft vermäh-len,”は“…Lieb'”、“…-mäh-len,”に重み。
 - 560 【lohnt dem〜】 “lohnt dem Menschen Götter-Gunst.”は“…Menschen”、“…-Gunst”に重み。
 - 565 【und〜】 “und Kraft, und Kraft, und Kraft…”ここら辺、長さの工夫があるので、
 - 579 【lohnt dem〜】 “lohnt dem …”と3回ありますので、3回の段階を聞かせるようにしましょう。
- ★ 【お話し】 じゃ、これを忘れないように。だから練習の時は逐一「言葉をしゃべっているんだ」ということを忘れないようにして、その練習を何回か繰り返してやっておいてください。

◆今日は実際に指揮者の先生との練習。色々教わる事がたくさん。でも腰が…(あんこもち)

◆ゾッホ タール テール 色々変わって大変だった。でも響きはこっちの方が良い。(初心者M)

◆指揮者の方が変わると演奏が変わるということが実感できました。やさしい笑顔で熱心なご指導、楽しい時間でした。

◆本日は勉強になりました。明日から発声に励みます。(バーバママ)

◆ますますむずかしくなる気がします。家で自主練をしなくては! ひざがガクガクしました。



◆発声練習不足です。これから一ヶ月! 頑張るぞ~!(セロ弾きのゴーシュ)

◆今日は野口記念館での練習です。初めてです。垣内先生のご指導、改めて勉強しなければいけないと

思いました。むずかしいけど頑張ります。ありがとうございました。

◆ドイツ語の発音が、そして言葉の強さをもう一度復習して本番に臨まないと指揮者の要望に応えられない合唱になってしまう。ドイツ語とラテン語は柔軟なフィーリングではない

が、正しく理解し本番あと一ヶ月半を目前に勉強し直していこうと思う今日の練習日でした。(m♪)

